



男女共同参画から考える 防災まちづくり

問合せ先 企画財政課 ☎ 2212

男女双方の視点から 考えた防災対策

災害にあった人たちは「被災者」とひとくくりに考えられがちですが、性別、年齢、障害の有無などによって、必要な支援、避難所生活での関心や優先事項は異なります。被災者それぞれの状況や立場を考慮せずに「誰に対しても同じ支援をして、皆平等」という考え方をもっていると、必要な支援を得られない人が生み出される原因になりかねません。



人は多様であることを考慮して防災体制を築くことが被害を可能な限り最小限にとどめ、復旧への近道につながります。この人の多様性を生み出す最も基本的な要素は「男女」です。
日ごろの防災訓練などで中心的な役割を担う、自主防災会や区において、女性は活動などには参加していても、物事を決める立場には少ない状況にあります。
防災訓練の方法を決めるときや、災害時に必要なものを揃える際に女性の視点が入らないと、どのような問題がおきるでしょうか。

市町連携地域実践活動推進セミナー 「男女共同参画の視点を 活かした防災対策」



市内各団体の様々な方がパネリストに

男女問わず、多くの参加者が集まりました。

講演を頂いた静岡大学 池田恵子教授

昨年の12月12日、市民文化会館小ホールにおいて、下田市と静岡県共催で男女共同参画市町連携実践活動推進セミナーが開催されました。
静岡大学教育学部池田恵子教授の講演や市内各地区の自主防災会長、賀茂災害ボランティアコーデイネーターの会、男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会、下田市女性の会など、様々な立場の代表の方々が出席し、性別や境遇など、多角的な面から下田市における今後の防災のあり方について意見を交換し合い、各団体や地域での様々な取り組みが紹介され、その中で協働できることなどを話し合いました。
備蓄品などに女性用品が無いことや防災訓練の内容の定型化、災害発生時における高齢者、要介護者の把握の方法など、様々な問題を解決していくきっかけづくりのセミナーとなりました。

セミナーにおける意見やアンケート結果

セミナーでは、パネリストや参加者の方々から貴重な意見をいただきました。

- ・地域によって防災の意識に隔りがある
- ・津波に備える前に、地震に強い家づくりをすることが重要
- ・自主防災会組織を女性が認識していない状況もあるので、女性に対する働きかけも必要
- ・新しく組織を作るのではなく、既存の組織同士で連携すべきなのは
- ・日中に災害が起きた場合、仕事などで外出していることが多いので状況把握が必要
- ・災害発生時、避難を諦めてしまう老人にうまく働きかけられるのは女性の力
- ・実践に近い形式の防災訓練をみんなの意見で実施し、様々な問題点を洗いざらい
- ・市役所の防災係に女性を配置すべきではないか。
- ・他県では自主防災の組織率が4割のところもあるが静岡県は100%。この土台をうまく活かしていきたい。

日常生活では当たり前過ぎて気付かないこと、そして男女双方の考え方を取り入れないと気付かない重要なことはたくさんあります。
東日本大震災発生時、避難所の炊き出しなどを女性が担い、働くこともできずに解雇されてしまったり、更衣室や

物干し場など、男女別に付けて欲しいものが一緒にされていたり、どちらか片方の目線のみで考えると、一方に甚大なストレスを与えかねません。
性別や年齢、障害があるなど、様々な立場の人が地域活動に参加し、方針決定することが大切です。

日ごろから 見直すことが大事

男女どちらか一方の視点のみで考えていると、お互い気付かない様々な問題が災害時に浮き彫りになります。
ふだんの暮らしのなかから、男女共同参画の課題を意識し、家庭や、働く場のあり方を見直していく必要があります。

性別によって役割を固定せず、柔軟な考えを持って考えてみませんか。
そして、防災訓練などでも機械操作や炊き出し訓練などを性別で固定せずに交代で行うことで、実際に災害が発生したときにより一層の防災力アップにつながります。
明日への備えは、日常の再確認から始まります。

●避難所生活になった場合、どのような問題が起きるのでしょうか

- 生活面・安全面の困難**
- ①生活環境（プライバシー・衛生）
 - ・仕切りや更衣室がない場合、プライバシーが確保できない
 - ・入浴できない（乳幼児や要介護者は特に大変）
 - ②物資の不足と配布方法の問題
 - ・女性用品、育児用品、介護用品の不足
 - ・男性のみによる物資の配布
 - ③安全の問題
 - ・ハラスメント、DV、性暴力の発生
- 家庭・社会生活面の困難**
- ①性別役割の顕在化
 - ・ライフラインがない中での家事
 - ・女性のみの炊き出しの負担
 - ・避難所の責任者の大半は男性
 - ②働くこと・収入を得ること
 - ・女性は先に解雇される傾向
 - ③避難生活の運営・復興への参画
 - ・女性は議論に参加しにくい

